

四半期報告書

(第49期第2四半期)

自 平成24年7月1日

至 平成24年9月30日

株式会社 **本じかん**

広島市西区商工センター七丁目3番9号

目 次

	頁
表紙	1
第一部 企業情報	2
第1 企業の概況	2
1 主要な経営指標等の推移	2
2 事業の内容	2
第2 事業の状況	3
1 事業等のリスク	3
2 経営上の重要な契約等	3
3 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析	3
第3 提出会社の状況	5
1 株式等の状況	5
(1) 株式の総数等	5
(2) 新株予約権等の状況	5
(3) 行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等	5
(4) ライツプランの内容	5
(5) 発行済株式総数、資本金等の推移	5
(6) 大株主の状況	6
(7) 議決権の状況	6
2 役員の状況	6
第4 経理の状況	7
1 四半期連結財務諸表	8
(1) 四半期連結貸借対照表	8
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	10
四半期連結損益計算書	10
四半期連結包括利益計算書	11
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	12
2 その他	16
第二部 提出会社の保証会社等の情報	17

[四半期レビュー報告書]

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	中国財務局長
【提出日】	平成24年11月13日
【四半期会計期間】	第49期第2四半期（自 平成24年7月1日 至 平成24年9月30日）
【会社名】	株式会社あじかん
【英訳名】	AHJIKAN CO., LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 中谷 登
【本店の所在の場所】	広島市西区商工センター七丁目3番9号
【電話番号】	(082)277-7010（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役 業務推進本部長 兼 経営管理部長 樋口 研治
【最寄りの連絡場所】	広島市西区商工センター七丁目3番9号
【電話番号】	(082)277-7011（直通）
【事務連絡者氏名】	取締役 業務推進本部長 兼 経営管理部長 樋口 研治
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号） 株式会社大阪証券取引所 （大阪市中央区北浜一丁目8番16号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第48期 第2四半期連結 累計期間	第49期 第2四半期連結 累計期間	第48期
会計期間	自平成23年4月1日 至平成23年9月30日	自平成24年4月1日 至平成24年9月30日	自平成23年4月1日 至平成24年3月31日
売上高（千円）	17,089,547	17,512,230	35,241,701
経常利益又は経常損失（△）（千円）	△151	412,041	739,223
四半期（当期）純利益又は四半期純損失 （△）（千円）	△36,930	216,909	341,072
四半期包括利益又は包括利益 （千円）	△48,939	178,554	358,687
純資産額（千円）	8,392,815	8,887,498	8,800,359
総資産額（千円）	16,173,665	17,099,098	17,425,352
1株当たり四半期（当期）純利益金額又は 1株当たり四半期純損失金額（△）（円）	△4.85	28.50	44.81
潜在株式調整後1株当たり四半期（当期） 純利益金額（円）	—	—	—
自己資本比率（％）	51.9	52.0	50.5
営業活動によるキャッシュ・フロー（千円）	389,669	899,979	△282,259
投資活動によるキャッシュ・フロー（千円）	△207,944	△285,364	△531,557
財務活動によるキャッシュ・フロー（千円）	△243,688	△822,853	489,414
現金及び現金同等物の四半期末（期末）残高 （千円）	1,692,506	1,222,461	1,429,402

回次	第48期 第2四半期連結 会計期間	第49期 第2四半期連結 会計期間
会計期間	自平成23年7月1日 至平成23年9月30日	自平成24年7月1日 至平成24年9月30日
1株当たり四半期純利益金額（円）	6.62	19.23

（注）1．当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2．売上高には、消費税等は含んでおりません。

3．潜在株式調整後1株当たり四半期（当期）純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが営む事業の内容について、重要な変更はありません。

なお、主要な関係会社の異動は、以下のとおりです。

（生産部門）

第1四半期連結会計期間において、新規設立により株式会社あじかんアグリファーム（連結子会社）を連結の範囲に含めております。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定または締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 経営成績の分析

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要等を背景に緩やかながら回復傾向が見られたものの、欧州債務危機に伴う海外経済の減速や円高の定着などにより、依然として先行不透明な状況で推移いたしました。

食品業界におきましても消費者の節約志向は依然として強く、同業他社との低価格競争が激しさを増す一方で、高止まりする原油・穀物価格などが企業収益を圧迫する厳しい経営環境が続いております。

このような状況の中、当社グループは第9次中期経営計画をスタートさせ、変化の激しい時代に対応するため、第一に「商品の研究開発と技術開発の強化」、第二に「営業基盤の拡充と市場開拓」、第三に「利益構造の改善」、第四に「全社供給体制の強化と効率化」、第五に「経営効率・経営品質の向上」を重点施策とした取り組みを開始いたしました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は17,512百万円（前年同四半期比2.5%増加）、営業利益は468百万円（前年同四半期比381.7%増加）、経常利益は412百万円（前年同四半期は経常損失0百万円）となり、四半期純利益は216百万円（前年同四半期は四半期純損失36百万円）となりました。

なお、セグメント別では営業部門におきましては、西日本エリアを中心に仕入商品の需要減少もありましたが、特に東日本エリアにおいて、コンビニエンスストアやスーパーマーケット、弁当店を中心に厚焼玉子や野菜加工品などの自社製品及び自社企画ブランド品の需要が増加し、売上・利益とも前年同四半期上回る結果となりました。また、平成22年12月に新規事業の一環として立ち上げた「ごぼう茶」ならびにその関連製品の売上高につきましても各種イベントや販売活動などにより、当初計画を大きく上回る状況で推移いたしました。

他方、生産部門におきましては、原油価格や穀物価格の高止まりに起因した副材料・補助材料費の上昇による製造原価の引き上げ要因はありましたが、当社グループの主要原材料である鶏卵価格が需給の関係から前年同四半期に比べ大幅に低下していることや、省エネ活動などの効果もあり、製造原価率は前年同四半期を大きく下回る結果となりました。

(2) 財政状態の分析

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ326百万円減少し17,099百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ253百万円減少し9,622百万円となりました。主な減少要因は、借入金の返済や法人税等の支払などによる現金及び預金の減少206百万円、商品及び製品の減少104百万円などです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ72百万円減少し7,477百万円となりました。これは生産設備を中心とした固定資産の取得による増加要因があったものの、減価償却の進行や投資有価証券の時価評価などが主な減少要因となったためです。

(負債)

負債合計は、前連結会計年度末に比べ413百万円減少し8,211百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ207百万円減少し7,189百万円となりました。主な増減要因は、仕入れに伴う支払手形及び買掛金の増加307百万円、賞与引当金の増加69百万円、約定返済に伴う短期借入金の減少484百万円などです。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ205百万円減少し1,022百万円となりました。主な減少要因は、長期借入金の減少189百万円などです。

なお、当第2四半期連結会計期間末の借入金残高は、前連結会計年度末に比べ673百万円減少し2,882百万円となっております。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ87百万円増加し8,887百万円となりました。主な増減要因は、四半期純利益の計上による増加216百万円、剰余金の配当による減少91百万円などです。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ1.5ポイント上昇し52.0%となりました。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の四半期末残高は、前連結会計年度末に比べ206百万円減少し1,222百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、899百万円（前年同四半期比131.0%増加）となりました。これは税金等調整前四半期純利益の計上405百万円に加え、減価償却費273百万円や賞与引当金の増加69百万円、売上債権・たな卸資産・仕入債務を合計した運転資金359百万円などが主なプラス要因となったためです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、285百万円（前年同四半期比37.2%増加）となりました。これは、生産設備の増強投資・メンテナンス投資などが主な内容となっております。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、822百万円（前年同四半期比237.7%増加）となりました。これは主に、借入金の返済による減少（純額）673百万円やリース債務の支払43百万円、配当金の支払90百万円などです。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(5) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、183百万円です。

なお、当第2四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

①【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	16,000,000
計	16,000,000

②【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在発行数(株) (平成24年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成24年11月13日)	上場金融商品取引所名又は登録認可金融商品取引業協会名	内容
普通株式	7,700,000	同左	東京証券取引所市場第二部 大阪証券取引所市場第二部	単元株式数 500株
計	7,700,000	同左	—	—

(注) 平成24年9月3日開催の取締役会決議により、1単元の株式数を500株から100株に変更しております。なお、実施日は平成24年10月1日であります。

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総数増減数(株)	発行済株式総数残高(株)	資本金増減額(千円)	資本金残高(千円)	資本準備金増減額(千円)	資本準備金残高(千円)
平成24年7月1日～ 平成24年9月30日	—	7,700,000	—	1,102,250	—	1,098,990

(6) 【大株主の状況】

平成24年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合 (%)
(株)足利興産	広島市中区白島北町3番14号	1,934	25.12
あじかん三栄持株会	広島市西区商工センター七丁目3番9号	619	8.03
(株)広島銀行	広島市中区紙屋町一丁目3番8号	363	4.71
あじかん株式持株会	広島市西区商工センター七丁目3番9号	357	4.64
(株)山口銀行	山口県下関市竹崎町四丁目2番36号	214	2.78
(株)三菱東京UFJ銀行	東京都千代田区丸の内二丁目7番1号	192	2.50
(株)ベストローンカトー	香川県観音寺市坂本町五丁目17番17号	183	2.37
明治安田生命保険相互会社	東京都千代田区丸の内二丁目1番1号	158	2.05
西川ゴム工業(株)	広島市西区三篠町二丁目2番8号	150	1.94
広島海苔(株)	広島県安芸郡海田町国信一丁目3番54号	139	1.81
計	—	4,312	56.00

(7) 【議決権の状況】

① 【発行済株式】

平成24年9月30日現在

区分	株式数 (株)	議決権の数 (個)	内容
無議決権株式	—	—	—
議決権制限株式 (自己株式等)	—	—	—
議決権制限株式 (その他)	—	—	—
完全議決権株式 (自己株式等)	普通株式 88,500	—	—
完全議決権株式 (その他)	普通株式 7,584,500	15,169	—
単元未満株式	普通株式 27,000	—	—
発行済株式総数	7,700,000	—	—
総株主の議決権	—	15,169	—

② 【自己株式等】

平成24年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義所有株 式数 (株)	他人名義所有株 式数 (株)	所有株式数の合 計 (株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合 (%)
(株)あじかん	広島市西区商工セン ター七丁目3番9号	88,500	—	88,500	1.15
計	—	88,500	—	88,500	1.15

2 【役員】の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成24年7月1日から平成24年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年 3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年 9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,539,402	1,332,461
受取手形及び売掛金	※ 5,420,804	※ 5,495,544
商品及び製品	1,867,695	1,763,602
仕掛品	7,489	5,623
原材料及び貯蔵品	741,869	716,792
繰延税金資産	135,624	160,498
その他	182,882	163,156
貸倒引当金	△19,894	△15,621
流動資産合計	9,875,874	9,622,056
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,641,612	1,592,039
機械装置及び運搬具（純額）	954,220	1,024,359
土地	2,957,295	2,957,295
リース資産（純額）	58,621	71,992
その他（純額）	223,989	211,062
有形固定資産合計	5,835,739	5,856,750
無形固定資産		
リース資産	57,556	48,854
ソフトウェア	150,632	123,898
その他	24,703	24,800
無形固定資産合計	232,892	197,553
投資その他の資産		
投資有価証券	550,071	458,377
繰延税金資産	84,194	109,499
その他	864,288	875,555
貸倒引当金	△17,708	△20,693
投資その他の資産合計	1,480,845	1,422,738
固定資産合計	7,549,477	7,477,041
資産合計	17,425,352	17,099,098

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	※ 2,627,536	※ 2,935,400
短期借入金	2,978,700	2,494,700
未払法人税等	218,315	223,651
賞与引当金	266,000	335,000
役員賞与引当金	26,046	15,104
リース債務	79,485	76,755
その他	1,200,927	1,108,510
流動負債合計	7,397,012	7,189,122
固定負債		
長期借入金	577,400	388,000
退職給付引当金	149,040	133,345
役員退職慰労引当金	306,516	319,127
資産除去債務	43,454	43,741
リース債務	151,569	136,762
その他	—	1,500
固定負債合計	1,227,981	1,022,477
負債合計	8,624,993	8,211,599
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,102,250	1,102,250
資本剰余金	1,098,990	1,098,990
利益剰余金	6,756,739	6,882,315
自己株式	△64,219	△64,300
株主資本合計	8,893,759	9,019,255
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	37,758	△15,796
為替換算調整勘定	△131,158	△115,959
その他の包括利益累計額合計	△93,400	△131,756
純資産合計	8,800,359	8,887,498
負債純資産合計	17,425,352	17,099,098

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
売上高	17,089,547	17,512,230
売上原価	13,237,653	13,112,020
売上総利益	3,851,893	4,400,209
販売費及び一般管理費	※ 3,754,615	※ 3,931,647
営業利益	97,278	468,562
営業外収益		
受取利息	923	900
受取配当金	4,566	5,229
通貨スワップ評価益	3,289	24,328
持分法による投資利益	8,563	6,205
その他	8,870	12,473
営業外収益合計	26,214	49,137
営業外費用		
支払利息	16,924	16,498
為替差損	53,056	43,681
長期為替予約評価損	51,807	44,248
その他	1,856	1,228
営業外費用合計	123,643	105,658
経常利益又は経常損失(△)	△151	412,041
特別利益		
投資有価証券売却益	—	895
特別利益合計	—	895
特別損失		
固定資産除却損	2,792	7,416
投資有価証券評価損	3,550	—
特別損失合計	6,342	7,416
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△6,494	405,520
法人税、住民税及び事業税	36,844	211,471
法人税等調整額	△6,408	△22,861
法人税等合計	30,435	188,610
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△36,930	216,909
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△36,930	216,909

【四半期連結包括利益計算書】
 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△36,930	216,909
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△23,698	△53,554
為替換算調整勘定	8,223	10,533
持分法適用会社に対する持分相当額	3,466	4,665
その他の包括利益合計	△12,009	△38,355
四半期包括利益	△48,939	178,554
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△48,939	178,554

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△6,494	405,520
減価償却費	324,042	273,906
賞与引当金の増減額(△は減少)	64,000	69,000
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△12,709	△10,941
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	6,040	12,611
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△16,593	△15,694
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△19,535	△1,287
持分法による投資損益(△は益)	△8,563	△6,205
受取利息及び受取配当金	△5,490	△6,129
支払利息	16,924	16,498
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△895
通貨スワップ評価損益(△は益)	△3,289	△24,328
有形固定資産除却損	2,792	7,416
投資有価証券評価損益(△は益)	3,550	—
売上債権の増減額(△は増加)	△97,831	△81,895
たな卸資産の増減額(△は増加)	△81,637	134,151
仕入債務の増減額(△は減少)	331,975	307,379
未収入金の増減額(△は増加)	23,593	4,136
未払金の増減額(△は減少)	△20,552	△26,612
未払消費税等の増減額(△は減少)	6,403	18,882
その他	△17,347	30,097
小計	489,275	1,105,610
法人税等の支払額	△99,606	△205,630
営業活動によるキャッシュ・フロー	389,669	899,979
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△4,241	△3,781
投資有価証券の売却による収入	—	15,499
有形固定資産の取得による支出	△177,814	△303,044
無形固定資産の取得による支出	△18,810	△8,694
利息及び配当金の受取額	5,488	14,353
その他	△12,565	304
投資活動によるキャッシュ・フロー	△207,944	△285,364
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△300,000	△400,000
長期借入れによる収入	400,000	—
長期借入金の返済による支出	△182,400	△273,400
利息の支払額	△17,001	△14,910
リース債務の返済による支出	△54,412	△43,556
自己株式の取得による支出	△78	△80
配当金の支払額	△89,796	△90,906
財務活動によるキャッシュ・フロー	△243,688	△822,853
現金及び現金同等物に係る換算差額	849	1,297
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△61,114	△206,941
現金及び現金同等物の期首残高	1,753,620	1,429,402
現金及び現金同等物の四半期末残高	※ 1,692,506	※ 1,222,461

【連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更】

(連結の範囲の重要な変更)

第1四半期連結会計期間より、新規設立により株式会社あじかんアグリファームを連結の範囲に含めておりません。

【会計方針の変更】

(減価償却方法の変更)

当社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、この変更による損益への影響は軽微であります。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

※ 四半期連結会計期間末日満期手形

四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理をしております。なお、当四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形が四半期連結会計期間末日残高に含まれております。

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
受取手形	18,240千円	30,447千円
支払手形	133,205	161,678

(四半期連結損益計算書関係)

※ 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
給料手当	811,349千円	833,269千円
賞与引当金繰入額	202,000	207,000
役員賞与引当金繰入額	11,525	13,367
退職給付費用	71,840	74,190
役員退職慰労引当金繰入額	8,816	12,611
貸倒引当金繰入額	△13,569	2,953
荷造運賃	915,745	976,331

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

※ 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、下記のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
現金及び預金勘定	1,702,506千円	1,332,461千円
預金期間が3ヵ月を超える定期預金	△10,000	△110,000
現金及び現金同等物	1,692,506	1,222,461

(株主資本等関係)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年6月29日 定時株主総会	普通株式	91,336	12.00	平成23年3月31日	平成23年6月30日	利益剰余金

II 当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月28日 定時株主総会	普通株式	91,333	12.00	平成24年3月31日	平成24年6月29日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	営業部門	生産部門			
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	17,089,547	—	17,089,547	—	17,089,547
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	1,464	4,612,010	4,613,474	△4,613,474	—
計	17,091,011	4,612,010	21,703,021	△4,613,474	17,089,547
セグメント利益	1,171,595	11,231	1,182,826	△1,085,548	97,278

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,085,548千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,031,099千円及びたな卸資産の調整額△54,878千円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	営業部門	生産部門			
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	17,512,230	—	17,512,230	—	17,512,230
(2) セグメント間の内部売上高又は 振替高	442	5,045,069	5,045,511	△5,045,511	—
計	17,512,672	5,045,069	22,557,741	△5,045,511	17,512,230
セグメント利益	1,185,052	287,688	1,472,740	△1,004,178	468,562

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,004,178千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用
△1,018,499千円及びたな卸資産の調整額27,510千円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額(△)	△4.85円	28.50円
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額又は四半期純損失金額(△) (千円)	△36,930	216,909
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る四半期純利益金額又は四半期純損失金額(△)(千円)	△36,930	216,909
普通株式の期中平均株式数(株)	7,611,296	7,611,072

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年11月13日

株式会社あじかん

取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 小松原 浩平 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 千々松 英樹 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社あじかんの平成24年4月1日から平成25年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成24年7月1日から平成24年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社あじかん及び連結子会社の平成24年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれておりません。

【表紙】

【提出書類】	確認書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の8第1項
【提出先】	中国財務局長
【提出日】	平成24年11月13日
【会社名】	株式会社あじかん
【英訳名】	AHJIKAN CO., LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 中谷 登
【最高財務責任者の役職氏名】	該当事項はありません。
【本店の所在の場所】	広島市西区商工センター七丁目3番9号
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号) 株式会社大阪証券取引所 (大阪市中央区北浜一丁目8番16号)

1 【四半期報告書の記載内容の適正性に関する事項】

当社代表取締役社長中谷登は、当社の第49期第2四半期（自平成24年7月1日 至平成24年9月30日）の四半期報告書の記載内容が金融商品取引法令に基づき適正に記載されていることを確認いたしました。

2 【特記事項】

特記すべき事項はありません。